



Lightwinder Commander V3 Ver.1.3.2 リリース・ノート

オタリテック株式会社

2023年3月24日

Lightwinder Commander V3 (以下 LwcV3) Ver.1.3.2 をリリースいたしました。Ver.1.3.1 からの主な変更内容は下記の通りです。なお、LWB 本体の動作と連動する場合、特に明記がなければファームウェアは最新バージョン = Ver.2.3.2 であることを想定しています。

また、以下において、“オンライン・モード”とはコントロール・モードまたはモニター・モードを、“アプリケーション・エラー”とは「アプリケーションのコンポーネントで、ハンドルされていない例外が発生し...」で始まるメッセージが記されたダイアログボックスが表示されるエラーを、“レガシー...”とは LWB-16 / 64 でも使用されていた I/O モジュールを指します。

1. 修正された不具合

1-1 DLL が見つからないためコードを実行できないというメッセージが表示され強制終了となることがある

備考: Ver.1.3.1 以前の LwcV3 を Windows 11 にインストールし、起動しようとする時「VCRUNTIME140_1.dll が見つからないため、コードの実行を続行できません。プログラムを再インストールすると、この問題が解決する可能性があります。」などのメッセージが表示され、強制終了となる場合があります。

LwcV3 Ver.1.3.2 起動時と同様のメッセージが表示される場合は、LwcV3 Ver.1.3.2 をインストールしたフォルダ(通常は C:\Program Files\Otaritec\LwcV3_132)にある vc_redist.x64.exe を実行後、LwcV3 を再起動してください。

1-2 ファイルを開いたときに発生する以下の不具合

- ・コントロール・モードで設定ファイルを開いたとき、SDI の In/Out が(ファイル通り)OUT に設定されない場合がある。
- ・ユニット名が付いていない LWB のある設定ファイルを開くと、「(行〇〇)必要な情報が記入されていないセルがあります。」という警告が表示されファイルを開けない。

1-3 オフライン・モードにて、コメントリーまたはリモート・ボックス内の複数の入力チャンネルに同一のグループ No.と各々のルーティング No.を入力し適用したとき、グループ設定される筈の出力チャンネルのルーティング No.が設定されない

備考: オンライン・モードから OFF-LINE モードに以降し、ボックス構成を変更していなければ、当該不具合は発生しません。

1-4 Unit タブにおける各パラメーター(“Unit Name”等)の変更が、17 台目以降、正しく実行されない (または、変更不可時にも変更操作が可能となる)

1-5 レガシーMADI モジュールが装着されている LWB のレガシー・モジュール FS を 96kHz から 48kHz に変更した後、ルーティングの初期化を行うとアプリケーション・エラーが発生

詳細: Ver.1.3.1 以前の LwcV3 をオンライン・モードで起動(または同モードに移行)したとき、レガシーMADI モジュールの装着された LWB のレガシー・モジュール FS(LgcyMdlFs)が 96kHz である場合、LWB 本体操作で当該 FS を 48kHz に変更した後に System タブの「ルーティング & グループ」の初期化を実行するとアプリケーション・エラーが発生します (LWB 本体操作から初期化実行までの間、LwcV3 はオンライン・モードのままとします)。

2. 改良または追加された機能

2-1 LWB 本体との通信速度の改善 (同じ LWB と連続して通信する際に発生する冗長な処理を削除)

以上